

# 高松市中央公園再整備基本設計(案)【概要版】 令和6年〇月 高松市



高松市中央公園は、高松市の中心市街地に位置し、市民の憩いの場、交流の場として長く親しまれてきた市を代表する都市公園です。現在、供用開始後、40年近くが経過し、施設全体の老朽化や樹木の高木化・老木化が進んでいるほか、施設のバリアフリー化や大規模イベントを開催するにもスペースが狭いという課題があります。また、近年は、多様な利用者ニーズへの対応や、地域活性化に資する新たな魅力づくりが求められております。

## ■位置図



## ■現状と課題

【樹木】○樹木が壁となりまちと公園が分断、  
○全体的に暗く、近寄りがたい雰囲気、○衛生害虫被害など



【水辺空間】  
既存の滝・せせらぎは、  
現在故障中。



【広場】オープンスペースが狭く、  
大規模イベントに対応できない。



【休憩施設・トイレ】老朽化・バリアフリー化への対応が必要。



## 2 中央公園再整備に向けた取組

令和元年度から、公募設置管理制度（Park-PFI制度）を活用した再整備についての調査・研究を重ね、令和4年12月に「民間活力を活用した中央公園再整備方針」を策定しました。その後、公募対象施設（カフェ等）の設置等予定者の募集及び選定を行い、令和5年7月に「民間活力をいかした中央公園再整備検討委員会」を立ち上げ、具体的な整備内容の検討を行いました。

### 取組経緯

R2.3～R2.8	中央公園外5公園サウンディング型市場調査
R2.10～R3.4	Park-PFI導入検討調査
R3.10	中央公園利用実態調査（Park-PFIサウンディング調査） 公園利用者アンケート調査
R4.6～R4.7	市民アンケート調査
R4.9.30 ～R4.11.14	民間活力をいかした中央公園再整備方針 パブリックコメント
R4.12	民間活力をいかした中央公園再整備方針策定、 公募設置等指針の公表
R5.6	株式会社ルーヴ公募設置等計画の認定（告示）
R5.7.27	第1回中央公園再整備検討委員会
R5.8	中央公園再整備に関する意見箱の設置
R5.9.28	中央公園再整備検討委員会先進地視察
R5.10	近隣小学校保護者等へのアンケート調査
R5.11.7	第2回中央公園再整備検討委員会
R6.1.29	第3回中央公園再整備検討委員会
R6.4.10	第4回中央公園再整備検討委員会
R6.4.22 ～R6.5.21	中央公園再整備基本設計 パブリックコメント（予定）
R6.6	中央公園再整備基本設計策定（予定）

### 市民等の御意見・御要望

中央公園の再整備に関しては、市民アンケート調査の実施や「中央公園再整備に関する意見箱」を設置するなど、市民等から広く御意見を頂きながら進めてきました。

これまでに、トイレ等公園施設の老朽化対策のほか、休憩スペースや遊具の充実、イベントの開催など多数の御意見を頂いております。

また、学校関係者へのアンケートでは、見通しが悪く、人気がないことなどを理由に、子ども等を遊ばせることに不安を感じている保護者が多い結果となりました。

他方、樹木を伐採に反対する約2,500名分の署名が提出されるなど、既存樹木を保全する御意見も寄せられました。



再整備検討委員会



小学生との意見交換



# 3 基本設計方針

中央公園の再整備については、老朽化した公園施設の更新を図るとともに、市民に親しまれる公園として、5つの視点を加えて取り組むことにより、市の新たな顔となる魅力的な公園を目指します。

## ① 安全・安心の確保

子どもからお年寄り、障がい者、外国人などすべての人が安心して利用できる公園を目指します。

### ■具体的取組

- ・ユニバーサルデザインの導入  
(バリアフリートイレ、車椅子利用者用駐車施設、インクルーシブ遊具、段差解消など)
- ・防犯対策(見通し確保、夜間照明、防犯カメラ設置など)
- ・防災機能の確保 など

## ② 新たなにぎわいの創出

民間活力の導入や利用者ニーズに対応した施設整備により、新たなにぎわいを創出します。

### ■具体的取組

- ・飲食店(カフェ)の設置、キッチンカースペース
- ・イベント広場の確保
- ・魅力的な遊具や休憩休息施設等の設置
- ・アイパル香川との連携 など

## ⑤ 持続可能な管理運営体制

再整備に合わせて、民間主導の持続可能な管理運営体制を構築することを検討します。また、市民に身近で、日常の交流の場となる公園を目指します。

### ■具体的取組

- ・民間による公園の一体的管理運営
- ・周辺施設や商店街との連携強化、情報発信
- ・利用ルールの弾力化
- ・ボランティア活動の推進
- ・市民イベントの開催 など

## ④ 地域課題への対応

中央公園の再整備を通して、人口減少・少子超高齢化、中心市街地活性化、環境問題などの地域課題にも対応していきます。

### ■具体的取組

- ・子育てしやすい環境整備
- ・緑地面積の確保や省エネルギー化など環境への配慮
- ・分煙施設 など

## ③ 景観・質の向上

高松市の顔に相応しい、明るく、開放感のある公園を目指します。

また、中央公園が持つ自然景観を継承しつつ、公園全体の高質化を図るなど、市街地景観の向上に取り組みます。

### ■具体的取組

- ・デザイン性のあるトイレ
- ・ライトアップによる夜間景観の演出
- ・モニュメントの積極的活用
- ・既存樹木の保全及び新たな植栽
- ・花壇、ウッドデッキ整備 など





# 4 ゾーニング

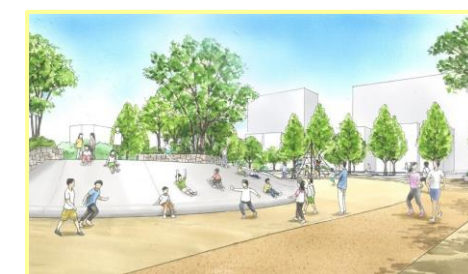
※図・写真はイメージです。

- 公園の機能配置（ゾーニング）については、デザインコンセプト等を踏襲しながら、南北のエリアに分け、出入口（エントランス）、ひろばで構成することとし、公園の歴史を尊重し、みどり、既存施設を可能な限りいかした配置とします。
- 北東部のメインエントランスを中心に、南西及び南東からもアクセスしやすいよう、エントランスを設け、歩道と公園に一体性を持たせ、公園外からの動線を誘導します。
- 公園中央部に多目的芝生ひろば、その南側に3つの広場（木陰ひろば・みんなのひろば・わんぱくひろば）を配置することで、公園内の回遊性を確保します。
- 公園北側にカフェを配置し、公園の教養施設であるアイパル香川との連携により、にぎわいの相乗効果を発揮させ、多目的芝生ひろばと一体となったシンボルゾーンを形成します。
- 公園の南エリア及び西エリアは、四季折々の自然とふれあえる空間を確保します。

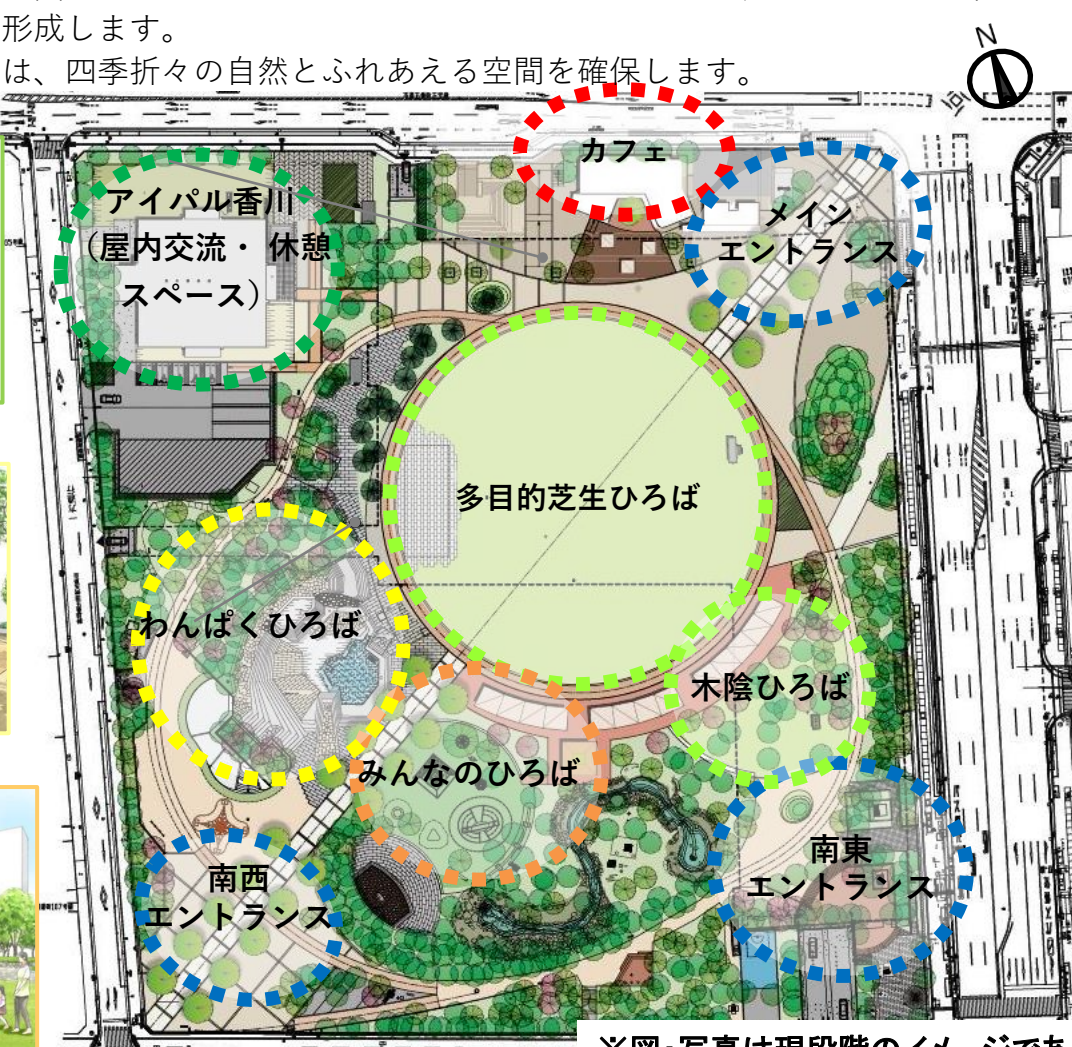
## ●多目的芝生ひろば



## ●わんぱくひろば



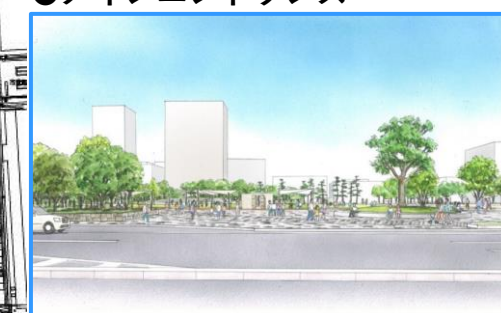
## ●みんなのひろば



## ●カフェ



## ●メインエントランス



## ●木陰ひろば



※図・写真は現段階のイメージであり、変更となる可能性があります。



# 5 公園施設計画

アイパル香川



車椅子使用者用駐車施設



写真：高松市立りんくろスポーツ公園

トイレ



噴水



写真：京都府亀岡運動公園

滑り台



写真：南池袋公園

インクルーシブ遊具

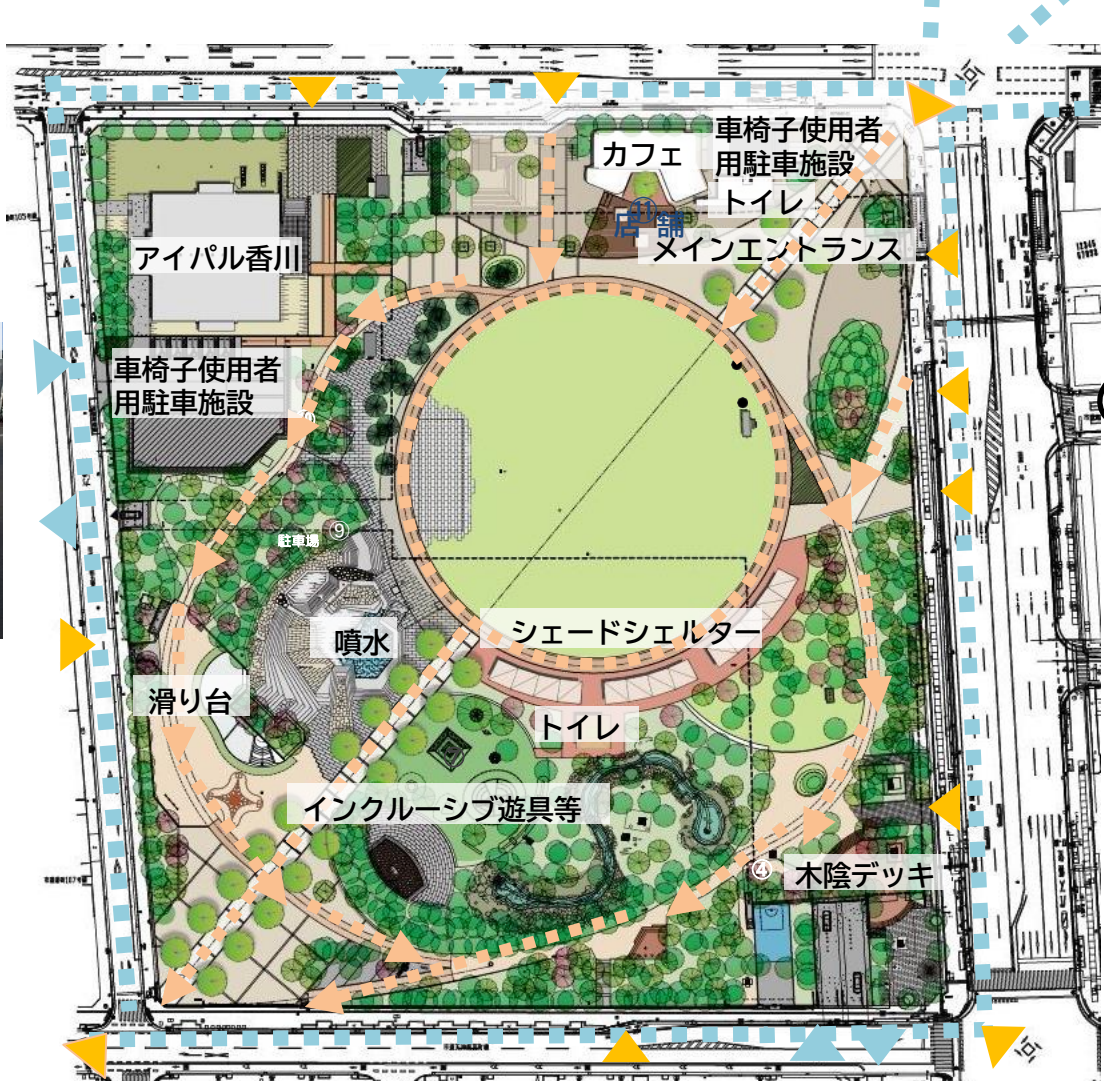


写真：綾川町やどん公園

木陰デッキ



写真：南池袋公園



カフェ



南池袋公園（豊島区公園緑地課提供）

メインエントランス



資料提供：名古屋市みどりが丘公園

シェードシェルター



写真：神戸市東遊園地

**凡例**

- 周辺からの園内へのアクセス動線
- 園内動線
- ▲ 出入口（来園者）
- ▲ 車両出入口



# 6 公園施設の概要

※図・写真はイメージです。

## トイレ

- 公園中央部に新設するトイレは、建物からこぼれる光が、防犯機能を有するとともに、園内を優しく照らします。
- 壁面に庵治石等を使用するなど、地域性をいかしたデザインとし、公園のランドマークとなる建物にします。



※公園中央部のトイレは、高松市職員（建築職）によるデザインコンペを実施し、デザインを決定。

## カフェ

- 周辺の樹木や、芝生広場と調和したデザインで、誰もが安心して利用できるバリアフリーのカフェを設置する。
- 店舗を活用した市民イベントの開催等新たなにぎわいを創出する。



設置者：株式会社ルーヴ

## 遊具

- 新たに障がいの有無に関わらず一緒に遊べるインクルーシブ遊具や滑り台を設置。
- みんなの広場は、既存イサムノグチ遊具と調和したデザイン性に配慮したエリアにする。



インクルーシブ遊具



南池袋公園



ひろばのイメージ

## 防災施設

- 既存防災施設（かまどベンチ・防災トイレ・飲料水兼用耐震性貯水槽等）を引き続き設置する。
- 新たに太陽光エネルギーを利用して発電できる照明の設置や、現状より広いオープンスペースを確保するなど、防災機能の充実を図る。



防災トイレ



かまどベンチ

# 7 公園施設の概要

※図・写真はイメージです。

## 夜間照明(ライトアップ)

## 植栽

- 夜間においても、市民や来街者の交流の場となり、安心してくつろげる、空間を提供するため、公園内を効果的にライトアップします。
- 特に、エントランス付近や園路沿いには、アップライティング照明やスポットタイプの照明灯を設置し、様々な人が立ち寄りたくなる夜間景観を演出します。
- 照明施設は、環境や維持管理費を考慮し、エネルギー効率の良いLED灯具等を採用します

- 既存樹木のうち、施設整備により支障となる樹木のほか生育環境の改善(間引き)や防犯上問題となっている樹木を除き、基本的には保全することを基本方針とする。
- 撤去した樹木については、公園内外への移植や再利用・資源化等を検討する。
- 公園の軸線となる北東から南西への対角線上には新植を行い、新たなランドスケープを創出する。
- ※再整備後の樹木(高木)の総数は、現在の7割程度になる見込み。

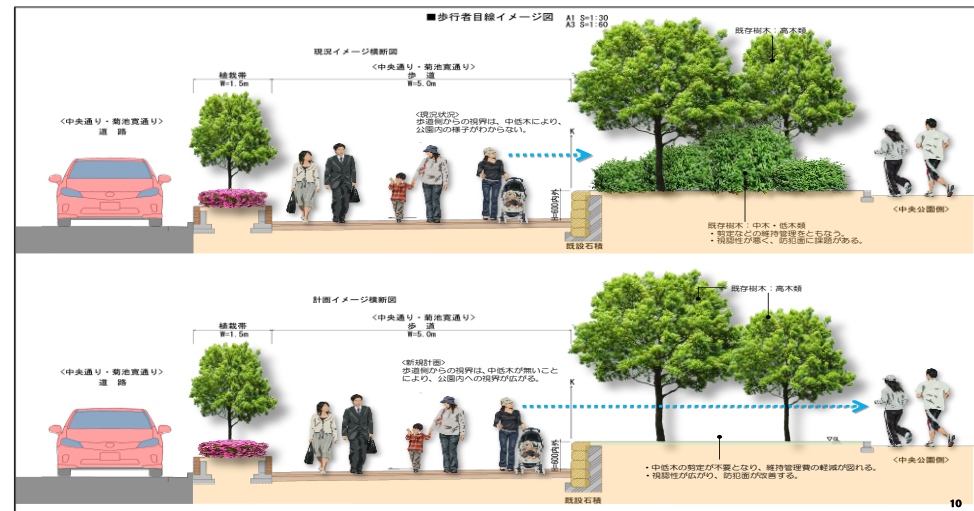


多目的芝生ひろばから南西エントランスを望むイメージ



公園の対角線(軸線)上に、アメリカワウ等のまっすぐな樹形や紅葉が美しい落葉広葉樹を植栽する。  
(資料提供:名古屋市みどりが丘公園)

## ○死角となっている箇所や風通しの悪い箇所の整備イメージ







### 【事業概要】

■面積：約3.5ha

■整備費：約12.8億円

(内訳：国6.4億円 市6.4億円)

■完成予定：令和9年夏

※上記金額はR6.3時点の概算額で、今後、物価上昇等により変動する可能性があります。